

看護統合実習(3単位)

実習目的

看護実務における組織の実際や看護実践の方法について学び、チーム医療を担う看護師としての責任と自覚を持つ。

実習構成

実習名	単位数	対象学年	実習施設
看護統合実習	3単位	3年次	静岡済生会総合病院

1. 実習目標

1) 実習目標

- (1) 看護実践における組織の実際や看護実践を通して看護の役割がわかる。
- (2) 自己の看護に対する考え(看護観)を明らかにし、臨床で看護する上での課題について考える。

2) 行動目標

- (1) 病院組織における看護部門の組織・運営について理解する。
- (2) 管理業務の実際と役割について理解する。
- (3) リーダー業務の実際と役割について理解する。
- (4) 看護師の行動の意味や根拠を(時間管理・医療安全・倫理の視点から)理解する。
- (5) 複数患者を看護するための基礎的能力を身につける。
- (6) 看護師と共に安全・安楽に配慮し積極的に援助を経験する。
- (7) 看護チームでの行動を通し、「チームの一員としてどう行動すべきか」について述べる。
- (8) 看護観を明確にし、臨床で看護するうえでの具体的な課題を述べる。

2. 実習方法

- 1) 看護部から病院オリエンテーションを受ける。
- 2) 病棟師長・リーダー看護師・受け持ち看護師と共に行動し、見学・体験をする。

3. 留意点

- 1) 【看護統合オリエンテーション】実習初日、学校にて看護統合実習のオリエンテーションを受ける。事前に予習・準備し実習に備える。
- 2) 【病院オリエンテーション】は実習1日目、看護部より『静岡済生会総合病院の看護部概要』をもとに、「病院における看護部門の組織・運営について」説明を受ける。
- 3) 【病棟オリエンテーション】は実習2日目、病棟にて「病棟師長業務」・「リーダー業務」についての概要を受け、翌日からの実習に活用する。
- 4) 【管理実習】は病棟師長、【リーダー実習】はリーダー看護師と共に行動し見学・体験実習をする。

- 5) 【シャドーイング実習】は受け持ち看護師とともに行動し、見学および看護師の指導のもとで体験実習をする。日々、徐々に体験を増やす。
- 6) 毎日、「経験を振り返る時間・記録整理をする時間」と「学生間の意見交換・学びを共有する時間」をとる。病棟の状況によって、時間を選定する。
- 7) 実習8日目は、病棟にて「学び得たことや今後の専門職業人としての課題」について、終了カンファレンスを行う。実習9日目学びのまとめとして、学内にて「チームの一員としてどう行動すべきか」をグループ内で発表する。
- 8) 実習終了後、実習での体験から「自己の看護に対する考え（看護観）」と「臨床で看護する上での具体的な課題」をレポートにまとめる。(A4 横書き 400 字詰め原稿用紙5 枚程度)